

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

○○○○・・・

「プログラムの概要」は「12. 申請経費」及び「14. プログラム担当者の構成」を除き、採択時に公表するため、計画調書等、他の様式等を用いた表現は使用しないこと。
(例:「調書〇ページ参照・・・」「〇〇で後述する・・・」)

各様式のフッターは、機関名、申請類型、プログラム名称を、各頁の欄外下に固定して記載。
ページ数は通し番号で正しく記載されているか必ず確認すること。

学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

○○○○・・・

「プログラムの概要」は「12. 申請経費」及び「14. プログラム担当者の構成」を除き、採択時に公表するため、計画調書等、他の様式等を用いた表現は使用しないこと。
(例:「調書〇ページ参照・・・」「〇〇で後述する・・・」)

イメージ図

博士課程教育リーディングプログラム 計画調書

I. 本プログラムの目的と大学の改革構想について

1. 本学位プログラムにより「養成すべき人材像」

如何なるリーダーを養成するのか、学則等に定める予定の本学位プログラムの人材養成目的を具体的に記入してください。

○○○○・・・

様式1は、区分線を移動することにより、以下上限頁数の範囲で各項目の記載欄を自由に設定することが可能。

【様式1の上限頁数】

オールラウンド型:40ページ以内

複合領域型・オンリーワン型:35ページ以内

※ただし、「II. 4. ②関連専攻の博士論文名等一覧」が2頁を超える場合は、上限頁数を超過頁数(3頁目以降の頁数)分増やすことが可能。

2. 本学位プログラムを通じて取り組む「解決すべき課題」

修了者が人類社会の課題解決を牽引するリーダーとなるために、本学位プログラムで取り組む「解決すべき課題」のテーマを具体的に記入してください。

○○○○・・・

3. 大学の教育研究目的・目標

学則等に定める大学としての教育研究上の目的・目標を具体的に記入してください。

○○○○・・・

各様式のフッターは、機関名、申請類型、プログラム名称を、各頁の欄外下に固定して記載。ページ数は通し番号で正しく記載されているか必ず確認すること。

4. リーダーを養成する本プログラムの目指すものと大学の教育改革

本プログラム申請に至る経緯、大学としての今後の改革構想における本プログラムの位置付けなどと、大学がこれまで進めてきた大学院教育改革の取組との関係が明らかとなるよう、具体的に記入してください。なお、同一年度に複数プログラムを申請する場合又は過年度に採択された実施中のプログラムがある場合には、これらとの関連性についても記入してください。

○○○○・・・

5. 本プログラムの発展性及び継続性

①リーダー養成の観点から、本プログラムの学内外における大学院教育全体への波及効果について、できるだけ具体的に記入してください。

○○○○・・・

②支援期間終了後の本プログラムの継続性の見通しについて、できるだけ具体的に記入してください。他大学等と共同実施、連携する場合は、支援期間終了後の連携の在り方等についても記入してください。

○○○○・・・

6. 学長を中心としたマネジメント体制と本プログラムに対する組織的支援

本プログラムの実現のための大学としてのマネジメント体制及び組織的支援（学内予算措置、教育研究組織の改編、施設・スペースの整備、教員の措置等）について、できるだけ具体的に記入してください。

○○○○・・・

Ⅱ. リーダーを養成する学位プログラムの内容について

1. 授与する博士の学位の分野・名称

本学位プログラム修了者に授与する博士の学位の専攻分野・付記する名称について、記入してください。

○○○○・・・

「プログラムの概要」の「6. 授与する学位分野・名称」及び「9. 専攻等名」との整合性に注意。

2. 学位授与の方針

学内規則その他に定めることを想定し、本学位プログラムの学位授与方針を具体的に記入してください。

○○○○・・・

3. 課程を通じて修得すべき知識・能力

学内規則その他に定めることを想定し、本学位プログラムを通じて修得すべき知識・能力について具体的に記入してください。

○○○○・・・

「VI. 1. 進路の現状」の修了者数(学位授与者数)との整合性に注意。
※満期退学者は含まない。

式 1

4. 学位プログラムに関連する専攻の現状

①関連専攻の入学定員等

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位分野・名称
						外国人	社会人	自大学の同一分野出身者		
△△△△研究科 △△△△専攻	博士前期課程	H24	40	85	45	15	1	0	40	
		H23	40	90	40	10	0	2	35	
	博士	<p>本学位プログラムの対象分野に関わる専攻: 「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」のうち、構想する学位プログラムにおいて、学位授与の対象として想定している分野に関連する「専攻(学類)など、「専攻」の名称を用いないものも含む)全てを指す。</p>								
△△△△研究科 □□□□専攻 (平成23年4月新設)	博士前期課程	H24	40	85	45	15	1	0	40	
		H23								
		H22								
	博士後期課程	H24	20	55	20	5	0	0	15	
		H23								
		H22								
××××研究科 ○○○○専攻 他6専攻	博士前期課程	H24	40	85	45	15	1	0	40	
		H23	40	90	40	10	0	2	35	
		H22	40	80	35	25	0	0	40	
	H22	20	60	15	5	0	2	15		
文部大学大学院□□研究科 □□専攻	博士前期課程	H24	40	85	45	15	1	0	40	
		H23	40	90	40	10	0	2	35	
		H22								
	博士後期課程	H24	20	50	25	10	0	0	10	
		H23	20	60	15	5	0	2	15	
		H22	20	60	15	5	0	2	15	

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻:
「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」のうち、構想する学位プログラムにおいて、学位授与の対象として想定している分野に関連する「専攻(学類)など、「専攻」の名称を用いないものも含む)全てを指す。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入。
新設等で実績がない場合は斜線。

対象となる専攻が多く、2頁程度で収まらない場合は、各大学の判断により、複数の専攻を合計した数値とすることが可能(複数の研究科を合計しての記載は不可)。

修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程(4年制)等、それぞれ区分ごとに記載。

専攻等名まで記載。

※関連専攻が多く様式が足りない場合は、適宜行を追加してください。

②関連専攻の博士論文名等一覧

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻のうち、主要分科に関わる専攻において平成 24 年度に博士学位を授与した学生の博士論文名、主（任）指導教員を記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

研究科・専攻名	番号	博士論文名	主（任）指導教
△△△△研究科 △△△△専攻			
××××研究科 ○○○○専攻 他 6専攻	2	○○○○・・・	△△△△
	3	××××・・・	□□□□
	4		
	・・・		
・・・	1		
	2		
	3	▽▽▽▽・・・	▲▲▲▲
	4	◇◇◇◇・・・	◆◆◆◆
	・・・		

原則として「①関連専攻の入学定員等」に記載した平成24年度の修了者者(満期退学者を除く)分について、主要分科に関わるものは省略せずに記載すること。
※記載できない場合は、オールラウンド型は「プログラムの概要」の項目7に記載した主要分科に関わる専攻(うち主要なもの)、複合領域型は項目7の太枠に記載した分科に係る専攻、オンリーワン型は項目8の太枠に記載した細目に係る専攻に絞って記載することが可能(省略した場合は欄外にその旨記載すること)だが、同一専攻の学位授与者の中で、記載する者と記載しない者の別を設けることはできない。

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻:
「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」のうち、構想する学位プログラムにおいて、学位授与の対象として想定している分野に関連する「専攻(「学類」など、「専攻」の名称を用いないものも含む)全てを指す。

※関連専攻や論文数が多く様式が足りない場合は、適宜行を追加してください。

③関連専攻修了の各界を代表するリーダーとして卓越した人物

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程を過去に修了した各界を代表するリーダーとして卓越した人物がある場合は、知りうる範囲で課程・修了年度等とともにできるだけ具体的に記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

○○○○ (○○○○長、△△研究科博士後期課程△△専攻○年度修了)・・・

提案する構想に関する実績として示せる人物であり、学位プログラムの対象分野に関わる専攻の課程を過去に修了した者(修士課程修了者、博士課程修了者)であれば誰でも記載することが可能(満期退学者等、中途退学者は除く)。

④関連専攻の教員組織

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程の平成 25 年 5 月 1 日現在の教員組織について記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

研究科専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
△△△△研究科△△△△専攻	博士前期課程	15	5	10	3	5	2	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1								5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—								—
△△△△研科△△△専攻	博士前期課程	15	5	10	3	5	2	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5									5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12									—
××	修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程(4年制)等、それぞれ区分ごとに記載。			0	3	5	2	10	0	40	10
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—
××研究科○○専攻 他6専攻	博士後期課程	15	5	10	3	5	2	10	0	40	10
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
対象となる専攻が多く、2頁程度で収まらない場合は、各大学の判断により、複数の専攻を合計した数値とすることが可能(複数の研究科を合計しての記載は不可)。								10	—	30	—
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	—	4	—	4	—	10	—	30	—

※関連専攻が多く様式が足りない場合は、適宜行を追加してください。

5. リーダー養成の観点からの大学院教育の強みや特色、改革の取組

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導く観点から、貴学の大学院教育がいかなる強みや特色を有し、これまでどのような教育改革の取組を行ってきたか、その成果も含めできるだけ具体的に記入してください。

○○○○・・・

6. 現在の博士課程教育における課題

上記5に関わって、貴学の大学院教育において現在いかなる課題を抱えていると認識しているか、できるだけ具体的に記入してください

○○○○・・・

7. 学位プログラムの内容

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、

- ・ 専門分野の枠を超えたコースワークにおける共通、基礎、専門、専門関連科目等の履修の体系的性、複数専攻制や分野を超えた研究室ローテーションなどの工夫
- ・ 上記を通じて修得される知の基盤を包括的に評価する Qualifying Examination などの質保証
- ・ 学生が主体的に専門分野の枠にとらわれず独創的に行う研究の計画、活動及びその研究指導における工夫
- ・ リーダーとなるに相応しい資質能力を保証する学位審査体制の工夫
- ・ グローバルに活躍するリーダーを養成する観点からの工夫
- ・ 産学官等が参画した実践性を備えた研究訓練等の工夫

などをはじめとする取組が、一貫した学位プログラムの中で有機的に実施されていることが明らかとなるよう、その内容、特徴を具体的に記入してください。共同実施機関及び連携先機関がある場合は、その連携内容や役割分担を記入してください。

○○○○・・・・

7. 学位プログラムの内容（続き）

○○○○・・・

8. 本プログラムの学生受入れ開始（予定）年月

平成○○年○月受入れ開始予定、平成○○年○月受入れ開始済

9. 本プログラムの学生受入れ予定人数

各年度における本学位プログラムの在籍予定学生数（括弧内はうち課程の途中から編入を受け入れる予定数を記入してください。）

	博士前期課程 1年	博士前期課程 2年	博士後期課程 1年	博士後期課程 2年	博士後期課程 3年	計
H25	20(5)	0(0)	15(5)	0(0)	0(0)	35(10)
H26	20(5)	20(5)	15(5)	15(5)	0(0)	70(20)
H27	20(5)	20(5)	15(5)	15(5)	15(5)	85(25)
H28	20(5)	20(5)	15(5)	15(5)	15(5)	85(25)
H29	20(5)	20(5)	15(5)	15(5)	15(5)	85(25)
H30	20(5)	20(5)	15(5)	15(5)	15(5)	85(25)
H31	20(5)	20(5)	15(5)	15(5)	15(5)	85(25)

※「Ⅱ. 1. 授与する博士の学位の分野・名称」に記載の学位を授与する予定の学生数を記入してください

10. 本プログラムによる学位授与数（年当たり）の目標

平成○年度○名、平成○年度以降○名（年当たり）

11. 申請類型に応じたプログラムの特色

申請類型の分類の趣旨や申請要件等に照らした本プログラムの適合性や特色について、具体的に記入してください。

○○○○・・・

Ⅲ. リーダーを養成する体制について

1. 指導・支援体制

「Ⅱ. 学位プログラムの内容について」に示した事項を実現し、リーダーとなるに相応しい資質能力の修得を保證する指導・支援体制について、

- ・ 専門分野の枠を超え国内外の多様なセクターから第一級の教員を結集した密接な教育研究指導体制とそれを可能にする支援体制
- ・ メンターやTAなどを活用した組織的履修支援体制

などの体制を、連携先機関との関係を含め、いかなる教員・職員等の構成・確保・配置によって実現しようとしているか、具体的に記入してください。共同実施機関がある場合には、双方の役割分担について具体的に記入してください。

○○○○・・・

2. 企画・運営・連携体制

複数の分野や連携先機関も含め、本プログラムを担当する教員が改革理念を共有し共通理解をもって組織的に指導・支援を展開、評価、改善強化していくための企画・運営・連携体制について、具体的に記入してください。共同実施機関がある場合には、双方の役割分担について具体的に記入してください。

○○○○・・・

IV. 優秀な学生の獲得と学修研究環境について**1. 優秀な学生の獲得方策**

広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとなる優秀な学生を獲得する、入学者受入方針やリクルーティング、入学者選抜等の工夫について、具体的に記入してください。学位プログラム所属学生を入学後に選抜する場合は、当該選抜においていかなる工夫を講じようとしているかも記入してください。また、優秀な外国人や社会人の受入のための工夫について記入してください。本支援期間を通じて、本学位プログラム選抜学生数、及び外国人、社会人、自大学の同一分野出身以外の者の入学者の割合をどの程度に設定しているかも併せて記入してください。

○○○○・・・

2. 優秀な学生にとって魅力ある学修研究環境

優秀な学生同士が切磋琢磨し刺激し合う環境、学生が主体的に独創的な研究を計画・実践できる工夫など、優秀な学生にとって魅力的な学修研究環境の構築について、具体的に記入してください。

○○○○・・・

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻:
「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」のうち、構想する学位プログラムにおいて、学位授与の対象として想定している分野に関連する「専攻(学類)など、「専攻」の名称を用いないものも含む)全てを指す。

3. 経済的支援の現状

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程において、平成 24 年度に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。「在籍学生数」及び「経済的支援を受ける者」欄には実数を、各項目別の人数は延べ数を記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

研究科・専攻名	課程区分	在籍学生数	経済的支援を受ける	TAとして採用されている者	RAとして採用されている者	フェロ-シップ・奨学金	うち		その他	授業料免除適用者数
							日本学術振興会特別研究員	特別研究員		
△△△△研究科 △△△△専攻	博士前期課程	うち、外国人	20	10	0	0	10	0	1	2
	博士後期課程	合計	60	40	15	15	15	5	20	10
		うち、外国人	15	10	5	5	2	0	2	1
△△△△研究科 □□□□専攻	博士前期課程	合計	80	25	5	0	0	0	2	
	博士後期課程	合計	60	40	5	15	15	5	0	0
		うち、外国人	20	10	0	0	10	0	1	2
××××研究科 ○○○○専攻 他6専攻	博士前期課程	うち、外国人	20	10	0	0	10	0	1	2
	博士後期課程	合計	80	25	5	0	10	0	20	10
文部大学大学院□□研究科 □□専攻	博士前期課程	合計	80	25	5	0	10	0	2	5
	博士後期課程	うち、外国人	20							
		うち								

様式4の2「(1)博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数」における「在籍者」との整合性に注意。

フェロ-シップ・奨学金の内数。
フェロ-シップ・奨学金 ≥ 日本学術振興会特別研究員採用者)となることに注意。

TA、RA、フェロ-シップ・奨学金、その他、授業料免除適用者については、左記「経済的支援を受ける者」の内訳(※各項目は延べ数のため、人数は左記「経済的支援を受ける者」より多くなることもある)。

対象となる専攻が多く、2頁程度で収まらない場合は、各大学の判断により、複数の専攻を合計した数値とすることが可能(複数の研究科を合計しての記載は不可)。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入。

修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程(4年制)等、それぞれ区分ごとに記載。

※関連専攻が多く様式が足りない場合は、適宜行を追加してください。

4. 優秀な学生が学修研究に専念できる経済的支援

優秀な学生が学修研究に専念できる経済的支援について記入してください。

○○○○・・・

2. グローバルに活躍するリーダー養成の取組

世界からの優秀な学生の獲得、外国人学生・教員との関わりや外国語の使用等によるグローバルな教育研究生活環境の確保、卓越した海外機関との連携・交流等を通じた国際競争力ある国際的ネットワークの形成など、グローバルに活躍するリーダーを養成するための取組について、その工夫やプログラムの卓越性が分かるように、具体的に記入してください。

○○○○・・・

VI. 産・学・官参画による修了者のリーダーとしての活躍に向けた取組について

1. 進路の現状

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻における平成 24 年度修了者の進路状況(平成 25 年 5 月 1 日現在、合計値)について記入してください。共同実施機関がある場合には、それぞれについて記入してください。

区 分 ※共同申請の場合は、ここに大学名を記載	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者		
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人	
修了者数/ 満期退学者数	40	15	20	0	
① 進学者数			0	0	
② 就職者数	37	13	18	0	
②の内訳	大学の教員(助教・講師等)	4	0	1	0
	公的な研究機関	5	1	3	0
	その他公的機関				
	企業(研究開発部門)	10	7	12	0
	企業(その他の職種)				
	ポスドク(同一大学)	9	2	0	0
	ポスドク(他大学等)	9	3	0	0
	学校の教員(大学を除く)	0	0	2	0
その他					
③ 専修学校・外国の学校等入学者	0	0	0	0	
④ 一時的な仕事に就いた者	0	0	1	0	
⑤ ①~④及び⑥以外	2	1	1	0	
⑥ 死亡・不詳	1	1	0	0	

※共同申請を行う場合には、本頁を機関毎に作成してください。

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先

※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

〇〇大学(アメリカ)、(独)△△研究所、(株)××・・・

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

××研究所

「⑤ ①~④及び⑥以外」欄に記載の具体的な内訳

進路未定、就職活動中

「⑥死亡、不詳」欄の事情、理由

※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

本人が海外渡航中のため不詳(確認中)

学位取得後に帰国したため、その後の進路については不詳(確認中)

それぞれ「0」の場合は「該当なし」と記載

本ページは、共同実施機関がある場合、機関ごとに作成すること(1機関1ページ)。

2. 実践性を備えた研究訓練等

共同研究プロジェクトへの参加やPBL、一定期間のインターンシップなど実践性を備えた研究訓練等の実施について、予定する年次や段階、実施機関や期間なども含めてできるだけ具体的に記入してください。

○○○○・・・

3. 産・学・官等との連携とリーダーとして活躍できるキャリアパスの確立

①本学位プログラムの企画に当たって、産・学・官等の機関又は団体が改革理念を共有しプログラムに参画しているか、また、社会構造の将来動向を踏まえた上で修了者がリーダーとして活躍できるキャリアが見通せるプログラムになっているかについて、具体的に記入してください。

○○○○・・・

②修了者に関してどのようなキャリアパスを想定しているか、どのようなキャリア支援の体制とするか、具体的に記入してください。

○○○○・・・

Ⅶ. 学位の質を保证するための取組について**1. 学位プログラムの修了要件**

本学位プログラムにおける博士課程修了要件（修業年限、取得単位、研究指導、論文審査等の在り方）について、本様式中のⅡ. 7. に記載した「学位プログラムの内容」との関連が分かるように具体的に記入してください。

○○○○・・・

2. 学位の質を保证するための取組

リーダーとなるに相応しい資質能力を保证する開かれた学位審査体制、Qualifying Examination など修得能力を包括評価する確かな質保証システムなど、学位、学生の質を保证するための取組について、具体的に記入してください。また、前期課程修了後就職する者に対する修士号授与要件の取扱いについても併せて記入してください

○○○○・・・

VII. プログラムの評価体制について**1. プログラムの成果目標**

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導く学位プログラムの構築・展開の成果目標や適切な評価指標について、事業支援期間中及びさらに長期的な見通しを具体的に記入してください。

○○○○・・・

2. プログラムの評価体制

成果目標や評価指標の達成状況など事業の進捗状況をできる限り国際的な見地から外部評価する仕組みについて、事業支援期間中及び支援期間終了後の体制を具体的に記入してください。

○○○○・・・

Ⅸ. 事業実施計画について

支援期間中の年度ごとの事業実施計画について、学生の募集時期、受入れ時期、組織や施設の整備時期を含めて具体的に記入してください。

平成25年度：

○○○○・・・

平成25年度から7年度分の計画が記載されているか確認。
(※6年度以下で実施するプログラムについては、当該年度分の記載)

平成26年度：

○○○○・・・

平成27年度：

○○○○・・・

平成28年度：

○○○○・・・

平成29年度：

○○○○・・・

平成30年度：

○○○○・・・

平成31年度：

○○○○・・・

X. 大学院教育研究に係る既存のプログラムとの違い

〈複数のプログラム担当者が、大学院教育研究に係る既存のプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は記載不要〉

国の教育・研究資金により継続実施中である大学院教育研究に係るプログラム（博士課程教育リーディングプログラム、グローバルCOEプログラム等）に、複数のプログラム担当者が関わっている場合は、当該プログラムの名称及び関与しているプログラム担当者の氏名を明記の上、プログラムの内容、対象となる学生、経費の使用目的等、本プログラムとの違いを明確に説明してください。

○○○○・・・

該当ない場合は空欄

XI. 前回申請したプログラムの改善・充実点について

平成23年度または平成24年度博士課程教育リーディングプログラムに申請したプログラムをベースとしている申請については、どのような点について改善・充実等が図られているのか簡潔に記入してください。

プログラム名称			
申請大学名		申請類型	
共同実施機関名		連携先機関名	
プログラムコーディネーター		プログラム責任者	

前回申請がない場合は空欄

XII. その他

プログラムの特色等を示すために、その他効果的と思われる特記事項等がある場合は記入してください。

該当ない場合は空欄

各項目のタイトル・説明文は改編不可(括弧書きも含め必ず残すこと)。

→ 様式 2

平成 25 年度

ヘッダー(様式O)は、各ページの右上に固定すること(改編しない)。

博士課程教育リーディングプログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
1	(プログラム責任者) (ガクシン ハナコ) 学振 花子	大学院△△△△研究科 △△△△専攻・研究科長	博士(××)	〇〇科学
役割分担	事業総括			
コミット メント	<p>博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、<u>本人が記入してください。</u></p> <p>〇〇〇〇・・・</p> <p>「プログラムの概要」の「15. プログラム担当者一覧」(及び組織表)に記載した順に作成し、通し番号を振ること(番号1はプログラム責任者、番号2はプログラムコーディネーターとすること)。</p> <p>様式2はプログラム担当者全員分(共同実施機関及び連携先機関所属者を含む)について、1人につき1ページ(両面印刷の場合は1人につき片面分)で作成すること。</p> <p>同一ページ内において各項目の区分線を必要最小限移動して作成することが可能。</p> <p>「プログラムの概要」の「15. プログラム担当者一覧」(及び組織表)各項目における記載との整合性に注意すること。</p> <p>「主な発表論文」以外の各項目の記入は必須。</p>			
学歴・職歴 ・学会・社 会活動	〇〇〇〇・・・			
主な発表 論文・著書	<p>既に発表した代表的な論文又は著書2件(印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近(原則5年以内に)発表したもの)について、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻(号)・最初と最後の頁・発表年(西暦)を記入)</p> <p>〇〇〇〇・・・</p> <p>各様式のフッターは、機関名、申請類型、プログラム名称を、各頁の欄外下に固定して記載。ページ数は通し番号で正しく記載されているか必ず確認すること。</p>			
エフオー ト予定	平成26年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合(エフォート)の予定を記入 〇〇 割			

(機関名: 学振大学 申請類型: 複合領域型(物質) プログラム名称: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

平成 25 年度

博士課程教育リーディングプログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
2	(プログラムコーディネーター) (ガクシン ジロウ) 学振 次郎	大学院△△△△研究科 △△△△専攻・教授	博士 (××)	○○科学
役割分担	各個別プロジェクトの取りまとめ、運営委員会委員長			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u> ○○○○・・・			
学歴・職歴 ・学会・社 会活動	○○○○・・・			
主な発表 論文	既に発表した代表的な論文 2 件（印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則 5 年以内に）発表したもの）について、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後の頁・発表年（西暦）を記入 ○○○○・・・			
エフオー ト予定	平成 26 年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ 割			

平成 25 年度

博士課程教育リーディングプログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
3	(ガクシン サプロウ) 学振 三郎	大学院△△△△研究科 △△△△専攻・教授	博士 (××)	○○科学
役割分担	○○プロジェクトリーダー			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u> ○○○○・・・			
学歴・職歴 ・学会・社 会活動	○○○○・・・			
主な発表 論文	既に発表した代表的な論文 2 件（印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則 5 年以内に）発表したもの）について、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後の頁・発表年（西暦）を記入 ○○○○・・・			
エフオー ト予定	平成 26 年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ 割			

平成25年度

ヘッダー(様式〇)は、各ページの右上に固定すること(改編しない)。

博士課程教育リーディングプログラム 経費関係調書

1ページに収めること。

<平成25年度>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

(補助金は適切かつ効果的に使用が計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記載すること。

〇〇〇〇…

様式3は、申請経費について、1年度につき1ページ(両面印刷の場合は1年度につき片面分)で作成すること。

同一ページ内において各項目の区分線を必要最小限移動して作成することが可能。

各年度とも申請類型における上限額に注意し、「プログラムの概要」「12. 申請経費」に記載する金額との整合性に注意すること。

経費の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。
- ・申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。
- ・平成24年度は10月～3月の半年分の必要経費を申請してください。 **対象期間に注意。**

〔記載例: 研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円〕

<平成25年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での使用金額	共同実施機関での使用金額	
【物品費】	0	0	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇×@〇〇円	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
【人件費・謝金】	0	0	
〇〇〇〇 〇人×@〇〇円×〇月	〇〇〇〇		
〇〇〇〇 〇人×@〇〇円×〇月	〇〇〇〇		
〇〇〇〇 〇人×@〇〇円×〇時間×〇回	〇〇〇〇		
【旅費】	0	0	
〇〇〇〇 〇人×@〇〇千円×〇回	〇〇〇〇		
〇〇〇〇 〇人×@〇〇千円×〇回	〇〇〇〇		
〇〇〇〇 〇人×@〇〇千円×〇回	〇〇〇〇		
【その他(奨励金)】	0	0	
【その他(奨励金以外)】	0	0	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
(平成25年度) 合計	0	0	
		0	

各様式のフッターは、機関名、申請類型、プログラム名称を、各頁の欄外下に固定して記載。
ページ数は通し番号で正しく記載されているか必ず確認すること。

(機関名: 学振大学 申請類型: 複合領域型(物質) プログラム名称: 〇〇〇〇〇〇〇〇)

<平成26年度>

年度の事業計画 1ページに収めること。

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

(補助金は適切かつ効果的に使用が計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記載すること。)

○○○○…

経費の明細

- 申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- 用途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。
- 申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

(記載例: 研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円)
 資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円)

<平成26年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での使用金額	共同実施機関での使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他(奨励金)】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
【その他(奨励金以外)】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(平成26年度) 合計	0	0	
		0	

(機関名: 学振大学 申請類型: 複合領域型(物質) プログラム名称: ○○○○○○○○○)

<平成27年度>	1ページに収めること。
年度の事業計画	
※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載	
(補助金は適切かつ効果的に使用が計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記載すること。	
○○○○…	

経費の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。
- ・申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例: 研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円〕

<平成27年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
○○○○ ○人×@○○円×○月	○○○○		
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回	○○○○		
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他(奨励金)】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○月	○○○○		
【その他(奨励金以外)】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(平成27年度) 合計	0	0	
		0	

(機関名: 学振大学 申請類型: 複合領域型(物質) プログラム名称: ○○○○○○○○○)

平成 25 年度

ヘッダー(様式O)は、各ページの右上に固定すること(改編しない)。

博士課程教育リーディングプログラム 教育研究実績・資源に係る基礎データ

(注意事項)

★印を付した項目については、「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。
 (共同実施機関がある場合には、★印のみが記載された項目(2, 3(5))に関しては、大学別にそれぞれ作成・記入してください。)
 ※印を付した項目については、プログラム担当者全員分に係るデータを集計の上、記入してください。

1. 卓越した教育研究実績・資源について

★※(1)教育活動の実績

「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」に記載した専攻等又はプログラム担当者の教育実績について、特筆すべき実績をまとめ、記入してください。

○○○○…

様式4は、区分線を移動することにより、10ページ以内の範囲で、各項目の記載欄を自由に設定することが可能。

★※(2)研究活動の実績

「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」に記載した専攻等又はプログラム担当者の研究実績について、特筆すべき実績をまとめ、記入してください。

○○○○…

★※(3)社会活動の実績

「プログラムの概要」の「9. 専攻等名」に記載した専攻等名又はプログラム担当者の社会活動実績について、特筆すべき実績をまとめ、記入してください。

各様式のフッターは、機関名、申請類型、プログラム名称を、各頁の欄外下に固定して記載。
 ページ数は通し番号で正しく記載されているか必ず確認すること。

2. 学生の研究活動の状況

★(1) 博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1:平成24年度(24年4月～25年3月の期間)について作成してください。**対象期間に注意。**

注2:学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

注3:論文発表数は、学生がレフェリー付学術雑誌に代表又はファーストオーサーとして(印刷済及び採録決定済のものに限り査読中・投稿中のものは除く。)発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の()内には、うち外国語で作成した論文数を記入してください。

発表数÷在籍者数(小数第2位を四捨五入)
様式1のIV「3. 経済的支援の現状」における「在籍学生数」との整合性に注意。

区分	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付論文発表数	在籍者に対する割合
【学振大学】 博士前期課程	○ 回 (○ 回)	○ 回 / 人 (○ 回 / 人)	○ 件 (○ 件)	○ 件 / 人 (○ 件 / 人)
【学振大学】 博士後期課程	○ 回 (○ 回)	○ 回 / 人 (○ 回 / 人)	共同実施機関がある場合は、適宜行を追加 ('区分'欄に大学名と各区分を追記)。	○ 件 / 人 (○ 件 / 人)
【文部大学】 博士前期課程	○ 回 (○ 回)	○ 回 / 人 (○ 回 / 人)		○ 件 / 人 (○ 件 / 人)
【文部大学】 博士後期課程	○ 回 (○ 回)	○ 回 / 人 (○ 回 / 人)	○ 件 (○ 件)	○ 件 / 人 (○ 件 / 人)

★(2) 博士課程学生の主な発表論文 **対象期間に注意。**

(平成22～24年度(22年4月～25年3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

○○○○・・・

共同実施機関がある場合には、大学の別が分かるように記載。

★(3) 研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成22～24年度(22年4月～25年3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

○○○○・・・

共同実施機関がある場合には、大学の別が分かるように記載。

研究費の交付を受けた期間や受賞年度等の記載漏れに注意。

3. 教員や関連専攻等の研究活動の状況

※(1)プログラム担当教員の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1:平成24年度(24年4月～25年3月の期間)について作成してください

対象期間に注意。

発表数÷プログラム担当教員数(小数第2位を四捨五入)

注2:学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

注3:論文発表数は、プログラム担当教員がレフェリー付学術雑誌に代表又はファーストオーサーとして(印刷済及び採録決定済のものに限り査読中・投稿中のものは除く。)発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の()内には、うち外国語で作成した論文数を記入してください。

教員数	学会発表数	教員数に対する割合	レフェリー付論文発表数	教員数に対する割合
○○人	○回 (○回)	○回/人 (○人)	○件 (○件)	○件/人 (○人)

※(2)レフェリー付学術雑誌等への研究論文発表状況又は専門書等の発行状況

注:平成22～24年度(22年4月～25年3月の期間)に発行された主な研究論文等を発表した主な学術雑誌、専門書等名について記入してください。

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
(レフェリー付き学術雑誌・専門書等名)	○○○○○	○○○○○	○○○○○

「プログラム担当者」のうち
大学教員数の合計。

※(3)学会賞等各賞の受賞状況等

注:平成22～24年度(22年4月～25年3月の期間)について作成してください。

対象期間に注意。

区分	代表的な受賞名及び主な外国の科学アカデミー名
国際的な大賞	○○○○○
国際的学術賞	○○○○○
日本学士院賞	○○○○○
国内学会賞	○○○○○
財団等賞	○○○○○
その他の表彰 (公的褒章含む)	○○○○○
外国の科学アカデミー会員状況	○○○○○

プログラム担当者にかかるものを記入。

※(4) 国際学会での発表(基調講演・招待講演等)の状況

対象期間に注意。

注:平成22~24年度(22年4月~25年3月の期間)に開催された国際学会での発表状況について作成してください。

代表的な国際学会名及び開催年月日(記入は10件以内とし、基調講演・招待講演等の特記してください。)

10件以内を記入。

プログラム担当者にかかるものを記入。

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

○○○○…

共同実施機関がある場合は、適宜行を追加(「区分」欄に大学名と各区分を追記)。

★(5) 他大学等との共同研究の実施状況

注1:右側の()は内数で国外の機関との共同研究の実施件数を示す。

注2:平成22~24年度(22年4月~25年3月の期間)について作成してください。

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
【学振大学】大学・研究機関	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)
【学振大学】企業等	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)
【文部大学】大学・研究機関	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)
【文部大学】企業等	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)	○ 件(○ 件)

(機関名:学振大学 申請類型:複合領域型(物質) プログラム名称:○○○○○○○○○○)

